



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月29日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 三津原 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 東條 祐弘 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	74,709	4.0	3,002	2.5	892	△4.8	913	△8.0	391	△8.5
2022年3月期第1四半期	71,851	5.2	2,929	24.0	936	118.1	993	194.8	427	20.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 395百万円 (△8.8%) 2022年3月期第1四半期 433百万円 (19.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	13.05	—
2022年3月期第1四半期	14.27	—

(注) EBITDA=(営業利益+減価償却費+のれん償却費)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	195,341	52,897	27.1
2022年3月期	178,753	52,876	29.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 52,897百万円 2022年3月期 52,876百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	156,000	6.7	6,900	6.5	2,600	7.6	2,500	△1.1	1,000	△25.4	33.35
通期	321,400	7.4	17,600	17.5	8,500	29.0	8,400	24.1	4,400	18.7	146.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	32,048,000株	2022年3月期	32,048,000株
2023年3月期1Q	2,061,175株	2022年3月期	2,061,175株
2023年3月期1Q	29,986,825株	2022年3月期1Q	29,986,894株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料については、TDnetにて適宜開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月～2022年6月）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が一時的に緩和し、経済社会活動の正常化が進む中で、持ち直しの動きがみられています。一方、新型コロナウイルス感染症の再拡大、円安の進行や原材料価格の高止まり、金融資本市場の変動等により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命とするヘルスケアグループとして、感染防止対策を徹底し、良質な医療サービス及び医薬品の提供に取り組んでおります。また、同時に全社を挙げたコスト抑制にも継続して取り組んでおります。

調剤薬局事業においては、本年4月の診療報酬改定による規制緩和に対応し、患者さまが対面で診療を受けた場合でも、オンライン薬局サービス「NiCOMS」を利用した、オンライン服薬指導によるお薬の受け取りを選択することが出来るようになりました。さらに7月にはオンライン診療検索サービス「NiCOナビ」をオープンし、診療から服薬指導、お薬の配送まで一気通貫のオンラインサービスを全国で提供する体制を整えました。また、登録会員数110万人を突破した電子お薬手帳「お薬手帳プラス」の活用と合わせてさらなる患者さまの利便性と医療の質の向上を推し進めてまいります。

医薬品製造販売事業においては、ジェネリック医薬品の品質管理と安定供給を最優先しつつ、研究開発投資による新規薬価収載品を含む自社製造品目の拡大及び生産性の向上に取り組んでおります。

医療従事者派遣・紹介事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による薬剤師の派遣・紹介の需要減少が続いておりましたが、足元では徐々に回復傾向にあります。また、医師紹介事業では、医師紹介の実績が拡大しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高74,709百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益892百万円（同4.8%減）、経常利益913百万円（同8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益391百万円（同8.5%減）となりました。今後も当社グループは、患者さま・お客さまに安心してご利用いただくため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に全力で取り組み、良質な医療サービスの提供に努めてまいります。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

#### ① 調剤薬局事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は66,375百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は2,062百万円（同9.2%増）となりました。同期間の出店状況は、19店舗の新規出店、3店舗の閉店の結果、6月末時点での総店舗数は713店舗（物販店舗1店舗を含む）となりました。売上高及び営業利益は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているものの、前年度の出店効果及び処方箋枚数の増加等により増収増益となりました。なお、国が2023年度末までにすべての都道府県で80%以上とすることを目標として掲げているジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、当社グループでは2022年6月末時点ですべての都道府県において80%以上を達成しており、全社平均では88.5%（供給停止品目などを算出対象から除外して計算）に達しております。また、在宅医療実施店舗の割合は93.1%（年間12件以上実施の店舗割合）と順調に推移しております。

#### ② 医薬品製造販売事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は10,027百万円（前年同期比17.5%減）、営業利益は270百万円（同40.1%減）となりました。売上高及び営業利益につきましては、2019年以降の新規薬価収載品の好調な販売は継続している一方、本年4月の薬価改定に伴う既存製品の販売価格の下落及び出荷調整品目における安定供給への対応等により減収減益となりました。なお、6月末時点での販売品目数は、同月に新規薬価収載品5品目を発売したこと等により641品目（一般用医薬品2品目を含む）となっております。

#### ③ 医療従事者派遣・紹介事業

当第1四半期連結累計期間の売上高は2,066百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は355百万円（同27.7%増）となりました。売上高及び営業利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた薬剤師の派遣・紹介需要が回復傾向にあること及び医師の紹介実績が引き続き拡大していること等により増収増

益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は195,341百万円となり、前連結会計年度末の178,753百万円に対し、16,587百万円、9.3%増加いたしました。主に、現金及び預金、商品及び製品の増加によるものです。

負債合計は142,444百万円となり、前連結会計年度末の125,876百万円に対し、16,567百万円、13.2%増加いたしました。主に、買掛金の増加によるものです。

純資産合計は52,897百万円となり、前連結会計年度末の52,876百万円に対し、20百万円増加いたしました。この結果、自己資本比率は27.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年4月28日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、2023年3月期の連結業績予想においては、引き続き新型コロナウイルス感染症が通期にわたり業績に影響を与えることを織り込んでおりますが、今後状況が大きく変化し、業績予想修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,543	31,490
受取手形	27	68
売掛金及び契約資産	20,458	18,950
電子記録債権	422	468
商品及び製品	23,024	31,979
仕掛品	1,799	1,909
原材料及び貯蔵品	6,262	5,970
その他	4,121	3,866
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	81,651	94,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,559	29,873
土地	14,155	14,025
建設仮勘定	1,226	1,067
その他（純額）	19,083	18,958
有形固定資産合計	64,025	63,925
無形固定資産		
のれん	15,220	16,332
その他	3,749	3,953
無形固定資産合計	18,969	20,285
投資その他の資産		
投資有価証券	16	16
敷金及び保証金	8,797	9,070
その他	5,293	7,346
投資その他の資産合計	14,107	16,434
固定資産合計	97,102	100,645
資産合計	178,753	195,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	48,513	59,066
電子記録債務	2,862	2,907
短期借入金	1,000	1,500
1年内返済予定の長期借入金	12,366	12,871
未払法人税等	1,800	959
賞与引当金	3,861	2,114
役員賞与引当金	45	-
その他	8,483	11,669
流動負債合計	78,931	91,089
固定負債		
長期借入金	41,531	45,070
役員退職慰労引当金	71	74
退職給付に係る負債	2,276	2,314
その他	3,065	3,894
固定負債合計	46,944	51,354
負債合計	125,876	142,444
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	41,507	41,523
自己株式	△3,500	△3,500
株主資本合計	52,887	52,903
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△10	△6
その他の包括利益累計額合計	△10	△6
純資産合計	52,876	52,897
負債純資産合計	178,753	195,341

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)
売上高	71,851	74,709
売上原価	59,380	61,928
売上総利益	12,471	12,780
販売費及び一般管理費	11,534	11,888
営業利益	936	892
営業外収益		
受取手数料	9	9
受取賃貸料	124	142
受取保険金	130	40
補助金収入	29	17
その他	56	62
営業外収益合計	350	271
営業外費用		
支払利息	79	64
支払賃借料	93	107
その他	119	78
営業外費用合計	293	250
経常利益	993	913
特別利益		
固定資産売却益	0	11
特別利益合計	0	11
特別損失		
固定資産売却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	993	925
法人税、住民税及び事業税	1,182	888
法人税等調整額	△616	△354
法人税等合計	565	534
四半期純利益	427	391
親会社株主に帰属する四半期純利益	427	391



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年 6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年 6月30日)
四半期純利益	427	391
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	5	3
その他の包括利益合計	5	3
四半期包括利益	433	395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	433	395

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	62,912	7,040	1,899	71,851	—	71,851
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5,118	2	5,120	△5,120	—
計	62,912	12,158	1,901	76,972	△5,120	71,851
セグメント利益又は損失(△)	1,888	451	278	2,618	△1,681	936

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,681百万円にはセグメント間取引消去△53百万円及び全社費用△1,627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	66,375	6,271	2,063	74,709	—	74,709
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,756	3	3,759	△3,759	—
計	66,375	10,027	2,066	78,468	△3,759	74,709
セグメント利益又は損失(△)	2,062	270	355	2,688	△1,796	892

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,796百万円にはセグメント間取引消去△29百万円及び全社費用△1,766百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。